

テーマ

## 事例から学び、深める～ケーススタディと意見交換～

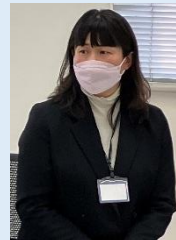


今回はこれまでの会の中で要望が多かったケーススタディと意見交換を参加者から話題提供をいただき、行いました。多様な視点を相互に学び合い、今後の支援や連携のために気づきやヒントを得ることを目的に、支援方法の検討や情報・知識の共有を図りました（情報保護のため、事例の情報の一部を抜き出したり、脚色を加えたりしながら話題提供いただきました）。当日は就労系福祉サービスや相談支援、企業、行政等から、26名の参加がありました。

### A グループ～就職したい希望を応援するためのアセスメントの視点とは～

#### 【話題】

- ・「就職したい」という希望はなぜ？、その他に要望がある？等を再確認する必要性がありそう。
- ・ご本人の今までの経過、どのように働いて生活していきたいかも含めてアセスメントしていく。
- ・アセスメント方法や結果は関係機関と共有して、理解を深めることにつなげる。
- ・したい事や楽しい事に加えて、仕事の大変さを企業見学・体験を通じて体感し、働くイメージを具体的に。
- ・課題解決のアプローチをする一方で、安心して通える場所という安心感も大切にしたい。
- ・社会経験が浅い方の場合、インプット期間も必要。人生を考える時期という捉え方でも良いのでは。



話題提供者  
木村さん（きずな）

### B グループ～後天的に障がいを持たれた方に対する支援方法とは～

#### 【話題】

- ・ご本人も支援員も障がいを負った前後での違いを知って支援をしていくことが大切。
- ・働きたい、〇〇したいの裏にある本人の考えを知って、日々の活動と結びつけていく。
- ・特性や悩みが共通する会への参加が効果的な例もある。
- ・マンガラチャートで取り組みの具体化をして、スモールステップの取り組みに。
- ・もともとの強みや苦手な事をプラス要素に置き換える目線も大事にする。
- ・支援員がもっと他機関やご家族と繋がってほしい、医療機関の情報からヒントを得られるかもしれない。



話題提供者  
松田さん（まなびや）

話題提供された 2 名の支援員の方からは『支援員の中にある「就職」のイメージをもとに課題を探していた。改めてご本人の希望や困り感の理解を深めていきたい』、『ご本人のことで知らない情報が多く、知るべきことが沢山あると感じた。関係機関と役割分担しながら、支援に必要な情報を集めていきたい』と感想をいただきました。

参加者からも『支援方法が同じパターンになりやすいため、他事業所のかかわりや大事にされていることを知って選択肢が増えた』、『関係機関での日頃の情報共有が大事と痛感した』等の振り返りをいただき、話題提供者・参加者ともに目的に沿った、有意義な時間になったと感じております。今年度の就労支援連絡会は今回が最後となります。次年度の取り組みに関しては追ってご案内いたしますので、今後ともよろしく願いいたします。